

免疫グロブリン製剤の効能・効果一覧

資料3-2

効能又は効果	製剤名	静注用						筋注用		
		献血ベニロ ンーI静注用 (化学及血 清療法研究 所)	献血ヴェノ グロブリン IH5%静注 (ベネシス)	献血グロベ ニンーI静注 用 (日本製薬)	日赤ポリグ ロビンN5%静 注 (日本赤十 字社)	ガンマガー ド静注用 2.5g (バクス ター)	サングロ ポール点滴 静注用2.5g (CSLベー リング)	ガンマグロ ブリン筋注 「化血研」 (化学及血 清療法研究 所)	グロブリン 筋注「ベネ シス」 (ベネシス)	グロブリン 筋注「ニチ ヤク」 (日本製薬)
1	低又は無ガンマグロブリン血症	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	重症感染症における抗生物質との併用	○	○	○	○	○	○			
3	特発性血小板減少性紫斑病 (他剤が無効で著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等 一時的止血管理を必要とする場合)	○	○	○	○		○			
4	川崎病の急性期 (重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合)	○	○	○	○					
5	ギラン・バレー症候群 (急性増悪期で歩行困難な重症例)	○								
6	チャーグ・ストラウス症候群又はアレルギー性肉芽腫 性血管炎神経障害の改善 (ステロイド剤が効果不十分な場合に限る)	○								
7	多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善 (ステロイド剤が効果不十分な場合に限る)		○							
8	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動 ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善			○						
9	天疱瘡 (ステロイド剤の効果不十分な場合)			○						
10	下記のウイルス性疾患の予防及び症状の軽減 麻疹、A型肝炎、ポリオ							○	○	○